資料１

第４次広島市食育推進計画について

１　計画期間：令和３年度～令和８年度

２　基本理念：食を通じて「健やかな体」と「豊かな心」を育む

３　目　　標：健全な食生活を実践する市民を増やす

４　基本方針

本市では、第１次広島市食育推進計画以来、基本理念の実現に向けた本市独自の取組として、健全な食生活を進める上での基本的な考え方である、３つの「わ食（和食・輪食・環食）」を推進してきた。

【　３つの「わ食」　】

３つの「わ食」	第３次計画における「わ食」の推進のための取組
和 **和食（わ）** 栄養バランスのとれた日本型食生活	・栄養バランスに配慮した食生活の推進 ・健康的な食べ方の実践に向けた取組の推進
輪 **輪食（わ）** 食卓を囲む家族等との団らん	・家族等で食卓を囲む機会を増やす取組の推進 ・食文化の伝承など「食」を契機とした地域振興・地域交流の促進 ・農林水産業や地産地消等の重要性を理解し実感する活動の促進
環 **環食（わ）** 環境に配慮した食生活	・食品や食材の廃棄を減らす取組の推進 ・広島の食材を普及する取組の推進

第４次広島市食育推進計画（以下「第４次計画」という。）では、以下の４つの基本方針を掲げ、引き続き３つの「わ食」を推進する中で、市民の心身の健康を支える食と、その食を支える環境を持続可能なものとする取組を連携して推進するとともに、コロナ禍で見えてきた新たな課題に対応するため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえた「新たな日常」や、新しい広がりを創出するデジタル化に対応した取組を推進する。

こうした取組を、食育推進の担い手が相互に連携し、全市一体となった広島らしい食育推進運動として展開することで、持続可能な「まち」の実現を目指す。

【　第４次計画　基本方針　】

目標：健全な食生活を実践する市民を増やす　①　　**※○は評価指標数（計 22 指標）**

基本方針１　和

生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

(1) 栄養バランスや減塩に配慮した食生活の推進 ③

(2) 健康的な食べ方（規則正しく、よく噛んで味わう等）の実践に向けた取組の推進 ⑦

連携

基本方針２　輪　環

持続可能な食を支える食育の推進

(1) 食を通じたコミュニケーションの機会を増やす取組の推進 ①

(2) 郷土料理や広島の食文化への理解と伝承の促進 ①

(3) 農林水産業の重要性を理解し実感する活動の促進 ①

(4) ひろしまの地産地消を普及する取組の推進 ②

(5) 食品や食材の廃棄を減らす取組の推進 ①

基本方針３　「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進 ④

基本方針４　全市一体となった広島らしい食育推進運動の展開 ①

5　中間評価を踏まえた重点取組

第４次計画の中間年である令和６年度に中間評価を実施し、計画後半における重点取組として「朝食を食べる」、「みんなで食べる」、「ひろしま産を食べる」の３つを挙げ、取組を進めた。

【重点取組】

朝食を食べる

朝食に関する指標は、 22指標のうち、6指標と多くを占めており 、中間評価で、指標となっている全ての世代（こども・20～30代の若い世代）について、ベースライン値から悪化していた。朝食を摂取する習慣は、 栄養バランスのとれた食生活や、よく噛んで食べるなど健康的な食べ方の実践につながることから、中間評価の結果を踏まえ、重点的に取り組むこととする。

みんなで食べる

輪食を実践している人の割合は 、ベースライン値から悪化し、特に70歳以上が低く 、男性49.7%、女性60.7%と目標値の80%から大きく乖離している状況である。

輪食は、本計画の基本方針の一つであるとともに、本市健康づくり計画「元気じゃけんひろしま２１（第３次）」の中でも、あらゆる機会を捉え、「輪食」についての理解と啓発を図るとしていることから、今後、重点的に取り組むこととする。

ひろしま産を食べる

ひろしまそだちを購入したことがある世帯の割合は 、59.9%とベースライン値から悪化している。豊かな心を育むとともに、広島への愛着を深めるため、地産地消や食文化の伝承を進めるとしていることから、重点的に取り組むこととする。

★情報提供の充実★　　★環境整備の推進★